

ホクレン営農支援情報

(2020年8月号)

● MA 包装フィルムで物流費削減、高鮮度流通体系の実用化へ 《食品流通研究課》

MA 包装フィルムは、青果物の呼吸量に応じ袋内の酸素や二酸化炭素濃度が調節されるようにすることで鮮度を保持する資材です。食品流通研究課では、ブロッコリー、スイートコーン、アスパラガスの輸送に MA 包装フィルムを利用することで、物流経費の削減や食味を保持できる条件を明らかにし、利用指針として策定しました。



MA 包装フィルムで梱包したブロッコリー

詳細はアグリポート 26 号（8 月発行）に掲載していますので、参考にしてください。

● 春播き小麦の新品種開発を目指して 《長沼研究農場 畑作物開発課》

ホクレン長沼研究農場では、春播き小麦の品種開発を行っています。

新品種の候補となる有望な系統は、全道で試作試験を行う必要があります。7 月上旬には試作試験における生育状況の調査を実施。生育はおおむね順調で、7 月下旬から 8 月上旬にかけて、収穫作業



生育調査の様子

を行う予定です。

その後は収量および品質を調査し、新品種としての有望性を判断することとなります。

● アグリポート 26 号を発刊 《営農支援推進課》

8月1日にアグリポート26号を発刊しました。特集は「土づくりの作業機」です。

作業機にはさまざまな種類がありますが、その中から今回は土づくりに関する「サブソイラ」「プラウ」「ロータリー」などに着目。仕組み、効果、使い方の基本や着脱時の注意点などについて解説しています。基本を学んで、作業機を使いこなしましょう。

また、「情報クリップ」のコーナーでは、新型コロナウイルスによる北海道農業への影響を解説してい

ます。ホクレンでは「つくる人」「食べる人」が一体となって現状を乗り越えるため「“おいしい”はエール Project」を開始。コロナはなかなか終息しませんが、皆で頑張っていきましょう！



● 大雨や台風への備えを 《営農支援推進課》

近年は毎年のように大雨や台風などの災害が全国各地で発生しています。しかもその影響は大きくなりがちです。自然災害に対しては打つ手はないのでしょうか？

2019年6月に発行したアグリポート19号の特集「気候変化に負けない」では、「圃場の排水性改善」や「ハウスの補強」など、営農の中で取れる対策を紹介しています。

下記のURLからご覧いただけますので、参考にしてみてください。

バックナンバー
アグリポート 19号

特集「気候変化に負けない」

- 変わる北海道の気候
- 土壌物理性改善プロジェクト
- 農業用ハウスの管理と補強
- 天候不順に負けない牧草生産



<https://www.hokuren.or.jp/kouho/ap/backnumber/19.pdf#page=4>

天気を素早く捉え、備える
気候変化に負けない

気候変化に負けないで早くキャッチして、被害を最小限に抑えられたら、それができればいいですね。気候変化のリスクを減らすには、気候変化に負けないで早くキャッチして、被害を最小限に抑えられたら、それができればいいですね。

01 変わる北海道の気候
農産物の生産、自給自足が求められる北海道の気候変化にどう備えるべきか、気候変化に負けないで早くキャッチして、被害を最小限に抑えられたら、それができればいいですね。

02 リスクに備えるには？
気候変動によるリスクを減らすには、気候変化に負けないで早くキャッチして、被害を最小限に抑えられたら、それができればいいですね。

03 気候変化がもたらす被害は？
気候変化による被害は、気候変化に負けないで早くキャッチして、被害を最小限に抑えられたら、それができればいいですね。

04 対策は？
気候変化による被害を減らすには、気候変化に負けないで早くキャッチして、被害を最小限に抑えられたら、それができればいいですね。

05 地域ごとに異なる気候変化への対応
気候変化による被害を減らすには、気候変化に負けないで早くキャッチして、被害を最小限に抑えられたら、それができればいいですね。

内容についてのお問い合わせは ホクレン岩見沢支所営農支援室 まで

Tel. 0126-35-1302 E-mail. 06einousien@hokuren.jp

発行：ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp